

3. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

筑波大学附属学校全体として、三拠点構想というものを掲げている。

「先導的教育拠点」「教師教育拠点」「国際教育拠点」の三点であるが、特にユネスコスクールのコンセプトに沿うものとして、国際教育拠点としての取り組みを重視している。

国際交流事業としては、必ずしもユネスコスクールという枠にとらわれず、本校独自に台湾や韓国・アメリカ合衆国との学校間交流を行っており、来年度以降も継続する予定である。

また、国際科学オリンピックなどの参加者も増えている。通常の授業では、国際理解については高校1年生対象の地理Aや世界史Aの授業の中で実践を行っている。

地域の連携などを通じてのネットワークの構築として、世田谷区教育委員会との共催、目黒区教育委員会からの後援を受け、筑駒アカデメイアという社会貢献プロジェクトを実施している。3つの講演会と約10の公開講座を開催し、小学生から社会人まで、幅広い方々を対象に実施している。

このほか、本校の伝統として高校1年生は「総合的な学習」において、水田実習を行っており、毎年改善を重ね食文化に対する理解を深めている。

また、高校2年生は「課題研究」の選択授業において、障がい者への理解や環境問題（水俣）への理解を深めている。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）